

# 事業成果報告書

## [取組 I] 都道府県教育委員会による小中一貫教育推進に関する取組

1. 都道府県教育委員会名 : 兵庫県教育委員会
2. 取組の名称 : 小中一貫教育調査研究事業

### 3. 事業の実績

#### (1) 事業のねらい

学校教育法等の改正による小中一貫教育の制度化を踏まえ、本県においても、学識経験者、行政関係者、学校関係者等で組織する小中一貫教育調査研究委員会を設置して、指定地域である姫路市、豊岡市、養父市における小中一貫教育の取組の成果や課題の分析、県内の他の地域における小中一貫教育の取組の情報収集を行い、その内容の周知を図ることで、県内各市町における小中一貫教育・小中連携教育の取組を支援する。

#### (2) 事業の実施状況

県教育委員会においては、小中一貫教育調査研究委員会を2回開催し、指定地域における取組の情報共有と期待される成果や課題、課題への対応策についての検討を行った。また、1月には県内全市町組合教育委員会の担当者等を対象に小中一貫教育の制度化の周知を図る「小中一貫教育連絡協議会」を開催するとともに、リーフレットを県内全公立学校に配布した。指定地域においては、取組協力校を中心に、小中一貫教育の取組を進めており、市教育委員会においては、制度化への対応等についての検討を行った。

#### (3) 事業の成果

小中一貫教育連絡協議会の開催やリーフレットの配布により、小中一貫教育の制度化について周知を図ることができ、各市町組合教育委員会における小中一貫教育・小中連携教育の取組を支援することができた。

小中一貫教育の制度化の内容が明らかになったことにより、指定地域における小中一貫教育の方向性が明確になった。また、一貫教育に必要なカリキュラムについても、すでに作成している姫路市では新学習指導要領を踏まえた内容検討、未作成の豊岡市、養父市においても、作成に向けた動きが始まるなど、児童生徒の発達や能力の育成に資するカリキュラム開発が行われている。

#### (4) 今後の取組予定

県教育委員会においては、小中一貫教育調査研究委員会の委員に、平成28年4月開校予定の義務教育学校の委員と併設型小・中学校の委員を加え、指定地域以外の小中一貫教育についても協議する。また、各教育事務所で教職員研修も実施する。

指定地域においては、制度化への対応について具体的な検討を行うとともに、一貫教育に必要なカリキュラム開発、協力校における取組の全市的な周知等を行い、全域における小中一貫教育の推進に向けた取組を行う。

#### 4. 取組Ⅰの実績

##### (1) 取組のねらい

学校教育法等の改正による小中一貫教育の制度化を踏まえ、本県においても、学識経験者、行政関係者、学校関係者等で組織する小中一貫教育調査研究委員会を設置して、指定地域である姫路市、豊岡市、養父市における小中一貫教育の取組の成果や課題の分析、県内の他の地域における小中一貫教育の取組の情報収集を行い、その内容の周知を図ることで、県内各市町における小中一貫教育・小中連携教育の取組を支援する。

##### (2) 取組Ⅰの実施状況（平成27年度）

10月	○モデル校訪問（養父市立関宮中学校区）【10/16】 ○モデル校訪問（豊岡市立但東中学校区）【10/22, 23】 ○モデル校訪問（姫路市立白鷺中学校区）【10/27】
11月	○モデル校訪問（養父市立養父中学校区）【11/4】 ○第1回小中一貫教育調査研究委員会の開催【11/18】 ・モデル校の取組についての情報共有 ・学識経験者による指導助言
12月	○小中一貫教育連絡協議会の開催準備（企画・立案、案内送付等）
1月	○小中一貫教育連絡協議会の開催【1/13】 ・小中一貫教育の制度設計について（文部科学省より） ・学識経験者による講演（兵庫教育大学安藤准教授） ○小中一貫教育全国サミットinならへの参加【1/29, 30】
2月	○第2回小中一貫教育調査研究委員会の開催【2/18】 ・小中一貫教育で期待される成果と課題の検討の方向性について ・リーフレットの内容検討 ○小中一貫教育リーフレットの発注
3月	○リーフレットの配布（4, 000部：県内各全公立学校）

##### (3) 取組の成果

小中一貫教育について、各市町組合教育委員会への周知を図ることができ、小中一貫教育導入意向調査においても、調査内容についての質問はなかった。  
小中一貫教育導入意向調査では、小中一貫教育を推進している市町数は、前回の実態調査の2市から5市に増加した。また、「28年度から実施」「29年度以降に実施」「検討に着手する予定」と回答した市町の合計は全体の約33%にあたる14市町であり、小中一貫教育が全県的な広がりを見せようとしている。

##### (4) 今後の取組予定

小中一貫教育調査研究委員会の委員に、平成28年4月開校予定の義務教育学校の委員と併設型小・中学校の委員を加え、指定地域以外の小中一貫教育についても協議する。また、各教育事務所で各小・中学校教員が参加する教職員研修も実施する。指定地域の取組については、研究のまとめとして中間報告を行う。

#### 5. [取組Ⅱ] を実施した協力市町村教育委員会等

通し番号	教育委員会等の名称	
Ⅱ-1	姫路市教育委員会	
Ⅱ-2	豊岡市教育委員会	
Ⅱ-3	養父市教育委員会	

## 事業成果報告書

### 〔取組Ⅱ〕 協力市町村教育委員会等による小中一貫教育の域内全域での導入に向けた取組

通し番号

Ⅱ－１

1. 協力市町村教育委員会等の名称 : 姫路市教育委員会

住所 : 兵庫県姫路市安田4丁目  
1番地

代表者職・氏名 : 教育長・中杉 隆夫

2. 取組の名称 : 施設併設型・分離型で進める小中一貫教育の可能性

3. 取組Ⅱの実績

(1) 取組のねらい

本市では、子供の発育の実態と現行学校制度とのズレ、校種による教職員の指導体制や意識の相違、学校文化の違いなどが微妙に作用し、特定の時期に学校生活への不適応や問題行動等が増加する傾向にあった（中1ギャップや小1プロブレムも含む）。改善策の一つの方法として小中一貫教育を導入し、子供の学力や人間関係力の育成に効果的な教育の仕組みを再構築する。本市においては、現状の施設（併設型・分離型）を使用し、中学校ブロックの実態に応じた小中一貫教育を進める。目的は、キャリア教育の視点を持ち、「学力の向上」と「人間関係力の育成」を目指し、本市教育の質の向上を図ることにある。学力向上推進懇話会においては、全国学力・学習状況調査を基に実態把握・分析を行い、取組の方向性を検討する。その際に、中学校ブロック単位での取組も推進できるように研修会等の持ち方を検討する。

本事業においては、交流活動ありきの小中一貫教育ではなく、施設が離れていても指導内容・指導方法・指導形態で一貫した教育を行うことで成果につながるのか、児童生徒や教職員を対象とした実態調査を実施し、研究を進める。そして、義務教育学校の設置について検討する小中一貫教育新制度懇話会を開催し、課題や成果とともに、今後の方向性を検討する。

(2) 取組Ⅱの実施状況（平成27年度）

10月	管理職対象の研修 中学校ブロック合同研修会 白鷺中学校ブロック実践発表会 小中一貫教育全国サミット参加 小中一貫教育新制度懇話会
11月	学力向上推進懇話会 中学校ブロック合同研修会 小中一貫教育新制度懇話会 小中一貫教育推進期間（中学校ブロックオープンスクール）
12月	学力向上推進懇話会 中学校ブロック合同研修会 小中一貫教育新制度懇話会
1月	中学校ブロック合同研修会 広嶺中学校ブロック実践発表会 小中一貫教育新制度懇話会 実態調査（児童生徒・教職員対象意識調査）
2月	小中一貫教育担当者会 中学校ブロック合同研修会 実態調査を基にした分析 先進地視察（品川教育フォーラム参加）

### (3) 取組の成果

学力向上推進懇話会においては、全国学力・学習状況調査について分析を行い、小中一貫教育の成果をふまえた上で、教育委員会各課が取り組むべきことを焦点化できた。

小中一貫教育全国サミットをはじめとする先進地視察では、先行的な取組を視察するとともに、小中一貫教育の新制度について情報を収集することができ、小中一貫教育新制度懇話会での議論を深めることができた。

モデルブロックにおける実践発表会においては、市内小中一貫教育推進担当者が参加することで先行的な実践を市全体に発信することができた。

児童生徒・教職員対象の意識調査について分析し、経年比較することで小中一貫教育の成果を確認することができた。

### (4) 今後の取組予定

小中一貫教育新制度検討委員会を開催し、これまでの成果と課題をふまえ、本市の小中一貫教育を一層推進するための方策について、義務教育学校設置も含めて方針を決定する。学力向上推進懇話会においては、全国学力・学習状況調査を基に実態把握・分析を行い、授業改善に向けた取組の方向性を検討する。その際に、中学校ブロック単位での取組が推進できるようにブロック研修を実施する。

## 事業成果報告書

### 〔取組Ⅱ〕 協力市町村教育委員会等による小中一貫教育の域内全域での導入に向けた取組

通し番号

Ⅱ－２

1. 協力市町村教育委員会等の名称 : 豊岡市教育委員会

住所 : 兵庫県豊岡市中央町2番4号

代表者職・氏名 : 教育長・石高 雅信

2. 取組の名称 : 「夢実現力」を育む小中一貫教育“豊岡スタイル”の取組  
～小さな世界都市を目指すふるさと豊岡の未来を創造する子どもの育成～

3. 取組Ⅱの実績

(1) 取組のねらい

- 一人一人の子どもたちの夢実現力(なりたい自分になるためにがんばりぬく力)を高め小さな世界都市を目指す豊岡の未来を創造する子どもを育成する。
- 豊岡市の3つの教育課題(不登校問題・学力の二極化の問題・特別な支援が必要な子どもたちへの教育的ニーズに対応する問題)の改善を図る。

(2) 取組Ⅱの実施状況(平成27年度)

10月	<ul style="list-style-type: none"><li>第2回ハッピー・スクール・プロジェクト(小学校6年生中学校体験)の実施(10月6日)</li><li>英語教育部会の実施(小学校英語カリキュラム作成等)</li><li>ふるさと教育部会の実施(ふるさと教育カリキュラム作成等)</li><li>英語コミュニケーション補助員による小学校での英語学習補助</li></ul>
11月	<ul style="list-style-type: none"><li>第1回豊岡市小中一貫教育検討会議・ワーキンググループ会議の実施(英語教育・コミュニケーション教育・ふるさと教育)(11月10日)</li><li>小中一貫教育視察研修(寝屋川市英語教育特別推進地域研究発表会)(11月13日～14日)</li><li>小中一貫教育調査研究委員会(神戸市)(11月18日)</li><li>英語教育部会の実施(小学校英語カリキュラム作成等)</li><li>ふるさと教育部会の実施(ふるさと教育カリキュラム作成等)</li><li>ハッピー・スクール・プロジェクト部会</li><li>英語コミュニケーション補助員による小学校での英語学習補助</li></ul>
12月	<ul style="list-style-type: none"><li>第2回豊岡市小中一貫教育検討会議・ワーキンググループ会議の実施(英語教育・コミュニケーション教育・ふるさと教育)(12月4日)</li><li>小中一貫教育視察研修(つくば市教育委員会)(12月9日)</li><li>英語教育部会の実施(小学校英語カリキュラム作成等)</li><li>ふるさと教育部会の実施(ふるさと教育カリキュラム作成等)</li><li>ハッピー・スクール・プロジェクト部会</li><li>英語コミュニケーション補助員による小学校での英語学習補助</li></ul>

1月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小中一貫教育視察研修(寝屋川市中学生イングリッシュ・プレゼンテーション・コンテスト)(1月9日)</li> <li>・小中一貫教育連絡協議会(神戸市)(1月13日)</li> <li>・第3回ハッピー・スクール・プロジェクト(小学校6年生中学校体験)実施(1月18日～22日)</li> <li>・但東小中一貫教育推進委員会(1月20日)</li> <li>・第3回豊岡市小中一貫教育検討会議・ワーキンググループ会議の実施(英語教育・コミュニケーション教育・ふるさと教育)(1月28日)</li> <li>・小中一貫教育視察研修(第10回小中一貫教育全国サミットinなら)(1月29日～30日)</li> <li>・英語教育部会の実施(小学校英語カリキュラム作成等)</li> <li>・ふるさと教育部会の実施(ふるさと教育カリキュラム作成等)</li> <li>・英語コミュニケーション補助員による小学校での英語学習補助</li> </ul>
2月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・豊岡市小中連携教育連絡協議会(講師招聘)(2月12日)</li> <li>・小中一貫教育調査研究委員会(神戸市)(2月18日)</li> <li>・保護者向け教育懇談会の実施(2月22日)</li> <li>・但東中ブロック小中一貫教育推進委員会の実施(次年度の方向性検討)</li> <li>・英語教育部会の実施(小学校英語カリキュラム作成等)</li> <li>・ふるさと教育部会の実施(ふるさと教育カリキュラム作成等)</li> <li>・英語コミュニケーション補助員による小学校での英語学習補助</li> <li>・小中一貫教育調査研究事業モデル校区合同推進会議(2月29日)</li> </ul>

### (3) 取組の成果

<ul style="list-style-type: none"> <li>・豊岡市小中一貫教育の全体構想を策定した。</li> <li>・「ローカル&amp;グローバル学習」の単元計画表を作成した。</li> <li>・保護者向け教育懇談会を2回実施し、小中一貫教育の方針や内容の説明と本年度の取組の説明を行い、保護者への啓発を図った。</li> <li>・ハッピー・スクール・プロジェクト(小学校6年生中学校体験)を年間10日実施した。小学生にとって、中1ギャップや少人数学級、学力の問題等の改善を図ることができた。また、中学生の自己有用感の獲得や教職員の交流の深化もみられた。</li> <li>・リーフレットを作成し、保護者や市内全小中学校の教職員に配付し、小中一貫教育についての啓発を図った。</li> </ul>
---

### (4) 今後の取組予定

<ul style="list-style-type: none"> <li>・豊岡市小中一貫教育推進協議会を2回実施し、方向性や内容について有識者の意見聴取等を行う。</li> <li>・豊岡市小中一貫教育検討会議を実施し、「ローカル&amp;グローバル学習」のカリキュラム作成と学習教材を開発する。</li> <li>・モデル校区(但東中学校区)においては、系統性と一貫性のある寄り添い方を学習指導と生活指導において実践するハッピー・スクール・プロジェクト(小6児童の中学校生活体験)の充実を図る。</li> <li>・小中一貫教育調査研究事業モデル校を拡大する。(城崎中学校区)</li> <li>・各中学校区小中一貫教育推進委員会を実施する。</li> <li>・小中一貫教育における成果と検証をアンケート調査等により行う。</li> <li>・小中一貫教育についての啓発資料を作成し配付する。</li> </ul>
--

## 事業成果報告書

### [取組Ⅱ] 協力市町村教育委員会等による小中一貫教育の域内全域での導入に向けた取組

通し番号

Ⅱ－3

1. 協力市町村教育委員会等の名称 : 養父市教育委員会

住所 : 兵庫県養父市広谷250-1

代表者職・氏名 : 教育長・足立 篤史

2. 取組の名称 : 養父市小中一貫教育推進事業

3. 取組Ⅱの実績

(1) 取組のねらい

養父市では、①地域の活性化、②中1ギャップの解消、③知・徳・体の向上を「目指す教育像」とし、それに向けて小中一貫教育という手段を活用する。平成29年度から市内4中学校区全てを小中一貫教育校として取り組んでいくために、先行モデル校2中学校区（施設併設型、施設分離型）を設定して推進していく。そのためには、現在各中学校区で取り組んでいる小中連携における取組をベースとしながら、「ふるさと教育の推進」、「9年間を見据えたカリキュラムの作成（ふるさと教育、キャリア教育）」、「各校への相互乗り入れ授業」、「教職員の効果的な研修」等を中心としながら、教育像に迫る取組を進めていく。

(2) 取組Ⅱの実施状況（平成27年度）

10月

- ・各先行モデル校区にて管理職・担当者を中心とした計画立案等の推進会議の開催
- ・小中一貫教育コーディネーターを雇用(両モデル校区に1名ずつ配置)→1月末まで
- ・小中一貫教育コーディネーターによる小中間及び市教委と学校との連絡調整作業
- ・小中一貫教育意識アンケート作成(先行モデル校区の小学5・6年生、中学1・2年生、全保護者対象)
- ・「ふるさと教育」「キャリア教育」の小中一貫カリキュラム(全体計画)の作成作業
- ・小中合同授業参観(小6国語)、乗り入れ授業(体育・理科)の実施(養父中学校区にて)

11月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小中一貫教育コーディネーターによる小中間及び市教委と学校との連絡調整作業</li> <li>・小中一貫教育意識アンケート調査実施、集計作業</li> <li>・関宮中学校区小中一貫教育推進委員会開催(市教委、学校、PTA代表、地域代表(学校評議員等)が出席)(11月11日)</li> <li>・「ようこそ後輩」事業・・・3小学校の6年生児童が中学校へ集い、中学校教諭による乗り入れ授業(数学、英語)の実施(養父中学校区)(11月12日)</li> <li>・小中一貫教育研修会開催(講師招聘)・・・京都産業大学教授：西川信廣氏による講演(11月18日)</li> <li>・養父中学校区小中一貫教育推進委員会開催(市教委、学校、PTA代表、地域代表(学校評議員等)が出席)(11月26日)</li> <li>・平成27年度小中一貫教育第1回調査研究委員会に出席</li> <li>・相互授業参観、小中合同授業研究(小学校道徳)を実施(関宮中学校区)</li> <li>・小小連携による合同社会見学、授業参観交流(養父中学校区)</li> </ul>
12月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小中一貫教育コーディネーターによる小中間及び市教委と学校との連絡調整作業</li> <li>・カリキュラムの作成作業、アンケート結果の集計作業等</li> <li>・「家庭学習の手引き」、「家庭学習のすすめ」の作成準備(養父中学校区にて)</li> <li>・「合同手作り弁当の日」の実施、6年生の中学校での清掃体験(関宮中学校区にて)</li> <li>・大学教授を招聘して養父市小中一貫教育に係る懇談会の開催(12月22日)</li> </ul>
1月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小中一貫教育コーディネーターによる小中間及び市教委と学校との連絡調整作業</li> <li>・校園所長会にて、中学校区ごとに幼・小・中学校の所長・校長が本年度の取組について情報交換、今後の取組について協議</li> <li>・養父市総合教育会議にて、進捗状況の説明、今後の方向性について協議</li> <li>・カリキュラムの作成作業</li> <li>・平成27年度小中一貫教育連絡協議会へ参加(3名)(1月13日)</li> <li>・小中一貫教育先進校視察研修会実施(大阪府吹田市・千里みらい夢学園)26名参加(1月15日)</li> <li>・小学生の中学校訪問交流会、小中合同授業研究会の開催(養父中学校区にて)(1月26日)</li> <li>・小中一貫教育リーフレット、家庭学習の手引きの作成(養父中学校区にて)</li> <li>・乗り入れ授業実施(小・中学校会場)や中学校での体験授業(外国語活動、理科、音楽、体育)、合同授業(音楽)の実施(関宮中学校区にて)</li> </ul>
2月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各先行モデル校区にて管理職・担当者を中心とした次年度の取組の計画立案、推進体制の確立等に向けた推進会議の開催</li> <li>・「ふるさと教育」、「キャリア教育」の小中一貫カリキュラム(全体計画)の作成作業</li> <li>・平成27年度小中一貫教育第2回調査研究委員会に出席</li> <li>・小中一貫教育リーフレット作成</li> <li>・市教育研修所主催「小小連携報告会」を開催し、本年度の取組の情報交換を実施</li> </ul>

### (3) 取組の成果

- ・先行モデル校区におけるアンケート調査によって、小学5・6年生が多少の不安を抱えつつも、進学に希望を抱いていること、中学生も中学進学前に中学校の校舎での活動並びに中学生との交流がもっとあったらよかったと感じていること、保護者からは発達段階に応じたスムーズな指導方法の段階的展開等に期待が大きいことを知ることができた。ただし、小中一貫教育の推進に不安を抱いている保護者の存在もわかり、丁寧な説明が必要だと認識した。
- ・従前から取り組んできた小中連携の取組による乗り入れ授業の実施、小学生の中学校舎での体験授業・体験活動、合同授業等により、小学生の中学校進学に向けた不安が解消され、進学への希望を膨らませることができた。
- ・教職員が、講師を招聘した研修会(講演会)や先進校の視察研修により、小中一貫教育に対するイメージを実感でき、全国での様々な取組について学ぶことができた。それらを今後の計画立案等に生かすことができた。

### (4) 今後の取組予定

- ・本年度は年度途中からの実施であったため、それぞれの学校がすでに立てていた年間計画の変更等をする必要が生じ、調整が難しい面があった。来年度は、年度当初から年間計画等に盛り込み、年間を通じた実践を推進していく。
- ・全教職員が目指す方向性を確認するとともに、推進体制を整備し、実際の取組を計画的に重ねていくことを大きな目標とする。その中で、指標を設定した評価、検証等による取組の振り返り、より効果的な取組にしていく。
- ・本年度は、先行モデル校区での推進委員会の開催、市広報誌による情報提供、校長会での説明等を行い、理解や協力を求めながら推進した。やや周知が不足していた部分も見られたので、次年度以降、保護者への説明会の開催、積極的なPR、広域な推進委員会の開催等、市内全域に広く周知し、理解を得ながら進めていく。
- ・平成29年度から市内全中学校区で小中一貫教育を取り組めるように、先行モデル校区以外においても、現在取組中である小中連携による教育活動の充実を図る中で、小中一貫教育への準備を進めていく。